

2023 年度
大東文化大学青桐会
全国各支部からの質問・要望

大学からの回答

【就職関連】	P. 1～
【教務関連】	P. 3～
【教職関連】	P. 4～
【学生生活関連】	P. 5～
【施設設備関連】	P. 6～
【スポーツ関連】	P. 7～
【留学関連】	P. 8～
【広報関連】	P. 9～
【その他】	P. 10～

※2023 年 7 月から 8 月にかけての青桐会全国支部総会で
会員様よりいただいた大学への質問・要望に対する回答を
いただきました。

【就職関連】

1. 公務員志望へのキャリアの対応を教えてください。また、公務員受験者の比率と合格者の比率について教えてください。

【回答】

【公務員志望学生へのキャリアセンターの対応】

将来の進路として公務員を考え始めた学生向けに「数的処理」などの科目を中心とした1-2年生向け公務員講座を開講。3年生向けには「主に市役所職員や警察官・消防官等を目指す方向けの公務員講座」と、「主に国家公務員や県庁職員などを目指す方向けの公務員講座」をそれぞれ開講し、筆記試験対策の支援を行っております。

その他にも年間を通じて公務員受験者の支援に特化した相談アドバイザーがキャリアセンターにおり、1回につき30分の個人面談を受けられます。面談では論文の添削や面接試験対策なども受けることができます。

【公務員受験者比率と公務員合格者比率】

○23卒の公務員合格者数と内訳

公務員合格者 147名(全体の就職者数 2,172名)

内訳：国会一般職(3)、国税専門官(3)、刑務官(2)、自衛官(9)、
地方公務員上級(4)、警察官(27)、警察事務(2)、消防官(11)、
東京特別区・政令指定市役所(12)、市役所・町役場(57)、臨床検査技師(3)、
看護師(9)、保育士(2)、その他(3)

2. 部活動をしている学生に合わせた、就職支援を実施して頂けないでしょうか。

【回答】現在、キャリアセンターにて以下の支援を実施しており、今後も強化していきます。

- ①運動部所属学生用グループLINEを毎年3年生/4年生対象に作成。最大月2回までの配信に限定し、運動部向け情宣の実施。
- ②学生自治会体育連合会が定期的に主催している主将主務会議にて、開催時期に合わせた全運動部学生向けの情報を説明・伝達。【スポーツ振興センターと連携】
- ③不定期開催の運動部指導者会議等にて、ガイダンスやイベント情報、求人情報などの説明・伝達。【スポーツ振興センターと連携】
- ④運動部指導者と連携したクラブごとのガイダンスを実施。
- ⑤適宜アンケートを実施し、集計・分析・フィードバック及び次回ガイダンスの改善。

3. 地方の県と本学との就職協定を結んで頂きたいのですが、可能でしょうか。
また、結んでいる県が有りましたら、教えて頂けますでしょうか。

【回答】 本学にはこれまで多数の地方出身者が在籍しており、高いUターン率の13の県^{*}と就職に関する協定を締結させて頂いております。(新規の締結については、各道府県庁からの申し出等を通じて、締結後の事業内容や予算などを勘案し、検討しております。

※締結順：愛媛県、新潟県、長野県、栃木県、秋田県、山形県、福岡県、福島県、茨城県、千葉県、山梨県、青森県、富山県

また、Uターン等各県への就職支援については、厚生労働省による地方就職を考える若年層支援事業であるL0活(Local+就活)とともに、Uターン就職を考えるきっかけづくりとなるガイダンスの実施や、各道府県のUターン支援事務所が参加する合同説明会を実施しております。さらに、L0活より専門相談員の方にお越しいただき、Uターン就職に関する個別面談も実施しております。

4. 留学後、復学した時の就職活動が心配です。就職活動に支障が出ない留学の時期と復学後の就職活動の支援について、教えて頂けますでしょうか。

【回答】 昨今、企業の採用活動が早期化しており、3年次になると多くの学生が就職活動を本格化させ行動に移しております。今では参加が必須とも言われる3年次の夏のインターンシップについても多くの学生が参加しており、それに向けた準備も春からスタートします。こういった動きを考慮すると、2年次に留学しておくことが一番影響の少ない留学ではないかと考えますが、留学先の国によって入学の時期が日本とは異なりますので、留学をする場合は、入学当初から国際交流センターや学科窓口にご相談するなどスケジューリングが大切です。また、留学することによる単位や進級要件について、所属の学部事務室にご相談してください。実際に留学へ行かれた場合でも、キャリアセンターでは現地で視聴できるガイダンス動画の制作や、学内ポータルサイトを使った就活情報の配信などでキャリア支援を行っており、帰国後、スムーズに就活に入れるようサポートしております。コロナ禍以降、オンラインで行うことの出来るサービスが当たり前となり「留学に行くから就活が出来ない」ということは少なくなりました。キャリアセンターでも、留学といった“積極的な行動”が就職活動に活かせるよう支援いたします。

【教務関連】

5. 3学年より板橋キャンパスに移った後、同じ日に東松山キャンパスを往復して授業を受けるケースがあります。往復が出来ない場合は受講を諦める学生もいます。どちらのキャンパスでも受講できるよう配慮いただけないでしょうか。

【回答】同一科目を両校舎で開講することには、教室の確保や講師の手配等に多くの課題があり、現状では難しいと考えています。

学内においてもデジタル変革とオンライン技術の活用を通じたオンライン授業の導入に向けた検討を進めておりますので、ご理解いただきたく思います。

6. 学部により受けられる授業が異なることは理解できますが、語学については対象を拡大し、希望する学生に選択の幅を広げていただく事は出来ないでしょうか。

【回答】各学科で開講されている科目は、語学科目も含め基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学べるよう組み立てられており、語学に限り学部を問わず選択の門戸を広げることは教育課程上も難しいため、ご理解をいただきたく思います。

7. 定期考査のタイミングで体調を崩し、高熱のため休養が必要との診断を受けました。体調不良や電車の遅延等、やむを得ない事由で試験や授業を欠席、遅刻した場合の配慮をお願いしたいです。

【回答】感染症や診断書を伴う体調不良、公共交通機関の遅延が生じた場合には、定期試験の追試験を受験することができます。定期試験の他、授業中試験の場合には、担当教員の判断となりますが、成績評価の方法については各科目のシラバスに掲載されており、社会的要請として厳格な単位認定が求められていますので、多くの場合は、追試験、課題提出での対応となります。なお、自己都合でやむを得ず、授業を欠席する場合（病気・ケガ・忌引き等）は、各自で担当教員に直接申し出てください。詳しくは各学部事務室、東松山教務事務室にお問い合わせください。

【教職関連】

8. 教職と図書館司書の同時資格取得について、事務の方から取得可能と言われましたが実際には東松山校舎での講義があり履修が難しい状況でした。時間割りや開講する校舎を工夫していただけないでしょうか。若しくは、申請の際に東松山校舎のみの開講であることを、教えていただけないでしょうか。

【回答】 本学としましては、可能な限り複数キャンパス・複数クラスで授業を開講する体制を整えるなど、より多くの学生に履修の機会を与えることができるよう努力しております。

また、教職課程センターでは、1年次秋の資格登録ガイダンス等で履修の相談ができる旨を学生に周知しておりますが、今後はさらに周知を徹底させたいと思います。

ガイダンスの他にも、教職課程センター事務室窓口（板橋・東松山両校舎で設置）にて随時相談に応じておりますので、どうぞ遠慮なく相談されますようお願いしてお伝えください。履修相談を通じて、複数の資格科目について履修しやすくできるように考えていきたいと思っております。

なお、教職や司書といった免許取得に必要な基礎資格である「学士」の学位は、学部を卒業することによって得られるものです。そのため、3年次進級や卒業要件を満たすことが重要ですので、時間割が重複した場合はまず所属学科の専門教育科目を優先させて、資格科目は次年度以降に履修するようにお願いいたします。

【学生生活関連】

9. 食堂に関して「食堂が混んでいてお昼休憩時間の利用が難しい」、「学食のメニュー、バリエーションを増やして欲しい」、「朝食の時間が短い」、「味があまりよくない」、「学食の料金を少し下げて欲しい」、「食事エリアを増やして欲しい」などの意見が多く、改善をお願いできませんでしょうか。

【回答】

<板橋校舎>

学生食堂は、食堂業者1社が図書館・中央棟1階にて運営しています。2022年度末に、食堂の床・壁の改修、テーブルや椅子を入替ると共に、テラス席を増やして改善を図りました。また、2023年度より前年度の外構工事により出来た緑のアスファルト道路にキッチンカー3台が出店し、さらに子供食堂業者による弁当販売が開始され、食事環境の改善を図っています。子供食堂の弁当は、ワンコインでお釣りが来る値段に設定されており、人気の弁当となっています。

学生食堂の料金につきましては、本学としても食堂の光熱水費を補助するなどしており、できる限り値上げしないよう運営業者をお願いしております。しかしながら、食材費や人件費の高騰など企業努力では吸収できない事情もあり、ある程度の値上げを認めざるを得ない状況にあります。

<東松山校舎>

学生食堂は、食堂業者1社が第一厚生棟1階及び2階において運営しており、季節・地域を意識したフェアのメニューなどを取り揃えております。その他平日の授業期間中、学内2カ所で弁当販売やキッチンカー3台など味や価格などバリエーション豊かにご用意しております。

お昼休憩時間の利用が難しい学生のために、進明堂やセブン-イレブンなどの学内売店では、朝8:30から営業しており、弁当やパンなどの軽食販売を行っておりますので、授業前の購入もご検討ください。

食事のできるエリアとしては、食堂内だけでなく3号館グランドフロアや5号館Mフロント、屋外にもテラス席やキャンパスプラザをはじめ青桐会の寄附により設置した複数箇所のベンチが設置されておりますので、ご利用願います。

学生食堂の料金につきましては、板橋校舎と同様となります。

なお、朝食の時間(8:10~9:30)につきましては、10:30からの昼食営業の準備があるため、限られた時間内での営業となりますことをご理解ください。

10. 安全互助会の「医療見舞金・保険制度」や「学生災害見舞金制度」について、非常にいい制度ですが、知らない方が多いのもっと周知していただけないでしょうか。

【回答】DB Handbook、大学ホームページ、掲示、定期健康診断時のアナウンス等で周知しておりますが、引き続き周知に努めて参ります。

【施設設備関連】

11. Wi-Fi 環境を充実させてほしいとの要望があがっています。校舎の Wi-Fi を強化する計画がありましたら、教えていただけますでしょうか。

【回答】2023 年 9 月に東松山キャンパスの 6、7、8 号館の一般教室について、Wi-Fi 設備の増強を行いました。また、2024 年 9 月には以下の建物の一般教室等について、同様に Wi-Fi 設備の増強を実施する予定であります。

板橋キャンパス：1、3 号館、図書館

東松山キャンパス：1、2、3、4、11 号館、図書館、厚生棟（生協食堂）

計 162 台のアクセスポイントを設置予定

【スポーツ関連】

12. 部活動及びサークル活動に関係する相談窓口があると有り難いです。部活動と勉学の両立、部活動の費用負担改善、各種設備利用の格差等、相談できる窓口がありましたら教えてください。

【回答】 体育連合会所属団体についてはスポーツ振興センターが、その他の団体については学生支援センターが、相談窓口になっております。

13. 部活動の朝練習に間に合うスクールバスが無く、部活動の寮には食堂しか学習スペースがありません。朝練習に間に合うスクールバス運行と、部活寮の学習環境の整備を検討していただけないでしょうか。

【回答】 スクールバス運行につきましては、騒音や通行など高坂駅周辺住民や駅利用者配慮して、午前8時から午後9時までの時間の中で運行しております。近隣住民の方の理解があつて、スクールバスの運行ができておりますので、部活動の朝練習のためのバス運行はできないことをご理解ください。

合宿所での学習環境につきましては指導者に対し、状況を確認のうえ、改善が行われるようにしていきたいと思っております。また、その他お気づきの点がございましたらスポーツ振興センターまでご連絡ください。内容を指導者と協議し、指導者より説明していただけるようにしたいと思います。

【留学関連】

14. 保護者向けにも、どんな留学プログラムがあるのか、また支援はどのようなものがあるのか情報を発信していただけますでしょうか。

【回答】留学プログラムと奨学金などの支援につきましては、「保護者のためのガイドブック」国際交流センター関係資料のページにてご案内しております。大学 HP トップページ右上の検索マークから「留学」と検索していただくと、学生向けの情報もご覧いただけます。国際交流センター事務室（板橋・東松山）の連絡先も記載されております。遠慮なくお問合せください。

15. 留学中の困りごとを相談する窓口はありますか。また、それを保護者のためのガイドブックに掲載いただけますでしょうか。

【回答】留学中のご相談につきましては、随時受け付けておりますので、お困りの事がございましたら国際交流センター事務室までお問い合わせください。また、留学中の病気・ケガ・トラブルなど、緊急を要する場合は、本学提携危機管理専門会社の 24 時間サポートデスクまでご連絡ください。これらのお問い合わせ窓口につきましては、次年度の「保護者のためのガイドブック」に掲載をさせていただきます。

【広報関連】

16. もっと地方からも本学に進学してほしいので、知名度が上がるようなPRをしていただけないでしょうか。

【回答】2024年度入試より、1月31日に桐門の翼奨学金試験を新たに行います(全国15会場実施)。

これに伴い、従来より全国会場実施の2月1日(全国23会場実施)・26日(全国15会場実施)の一般選抜(全学部統一)に加えて全国会場では延べ53回の試験実施となります。

これらは、他大学と比較して大変多い実施回数であり、これらに連動したシティースケープ広告(バス停大型交通広告)、地方テレビ局スポットCMを一般選抜時期に出稿しています。

18歳人口減に伴い、各地区の高校も統廃合やクラス削減が行われており厳しい状況ですが、引き続き高校訪問や進学ガイダンス(北海道・福島・新潟・長野・富山・山梨・栃木・群馬・茨城・千葉・埼玉・東京など)参加を通じて知名度向上・志願者増及び入学者増につながる広報展開を進めて参ります。

17. スポーツ大東以外の部活動の結果についても、ホームページ等に掲載していただけないでしょうか。

【回答】本学ホームページ内の「大東スポーツ」ページでは、スポーツ振興センターが中心となって本学運動部の情報発信に努めております。

あわせて、世界大会や全国大会、それに準ずる大会など話題性のある運動部のニュースはTOPページにも掲載しております。

文化部や連合会に属していない部活動・サークルなどは、その都度情報提供を受けて掲載する流れとなっているため、最新情報を入試広報課までご連絡いただければと思います。

【その他】

18. 100周年を迎えた歴史ある大東文化大学ですが、更に100年続くためには、ますます人気のある大学になることが不可欠だと思います。スポーツ面の強化と活躍はメディア等で見えますが、学習面の強化はどのような方向で進めているかお聞きしたいです。

【回答】本学では、全学教務委員会が学部・学科と連携して、教育の円滑な推進及び質の向上を図るため、教務に関する全学的な事項について、様々な課題解決に向けた検討を行い、学生の学習能力向上に活かしております。
一例ですが、教育活動の具体的な施策については、以下の通りです。

1. 学修成果を可視化し、学生が自らの学びを振り返ることで、主体的な学びを促すとともに、教育の質保証を推進する。
 - ・科目とDP（ディプロマ・ポリシー/卒業認定・学位授与の方針）との関連度を明記することによる学習成果可視化の推進
 - ・学修ポートフォリオの活用推進（manabaの活用）
2. 基礎教育の充実と学習支援体制の整備
 - ・多様な学びの内容を効果的に学習するための基礎教育の充実
 - ・学生の技能や知識を高めるための支援（補習教育・補充教育の充実）
 - ・ICT、データサイエンス教育の充実
3. 新しい教え方・学び方（遠隔技術活用を含む）の探求・実践を進め、学生の学習意欲・主体性を喚起する。
 - ・アクティブ・ラーニングの推奨
 - ・学外における実践的な活動の推奨
 - ・インターンシップ科目の推奨

このように、1年次の少人数クラスによる各学部の導入教育や補習教育を充実させることで基礎学力を養い、3、4年次の専門教育にスムーズに取り組み、より深く学習できるような学習支援体制を整えています。さらに、学生のニーズに合わせた補充教育や学生の主体性を育成していくアクティブ・ラーニングといった新たな学びの科目を推奨しています。授業をきっかけとした多様な実践や経験が、卒業時の自信につながるような学びの場の構築を目指し、常に検討を重ねています。

なお、詳細は、本学ホームページ『DAITO VISION 2033』をご参照ください。

https://www.daito.ac.jp/information/open/file/file_daitovision_2033.pdf

19. 現在、授業料の支払いは銀行振り込みのみとなっていますが、クレジットカード払いの大学もあります。クレジットカード払いも可能になるよう検討していただけないでしょうか。

【回答】 クレジットカード決済の導入可能性については既に調査を行っておりますが、カード決済手数料が高額（カード会社によるがおおむね学費の2.9%程度が利用者本人負担分として加算）となることなどから現時点では導入の予定はありません。

20. 現在の4年生はコロナ禍だったため入学式が行われませんでした。その為、卒業式は盛大に行なっていただけないでしょうか。

【回答】 コロナ禍で入学式を経ずに学生生活を迎えた学生や保護者の皆様のお気持ちをお察しいたします。本学では常に学生の思い出に残る式典となるよう式典の運営に努めております。

2023年度の学位記授与式は、東京国際フォーラムホールA（5000人収容）で開催し学位記の受け渡しは板橋校舎で実施いたします。東京国際フォーラムでは晴れやかな式典を、板橋校舎では学生と教員との交流の場を設けるなど、学生生活の中で記憶に残る一日となるよう努めます。

以上